



第1次胎内市総合計画 (基本構想・基本計画)



平成18年12月

新潟県胎内市

ごあいさつ



胎内市は、平成17年9月1日、中条町と黒川村が合併し、誕生した新しい市であります。

この度、「自然が活きる、人が輝く、交流のまち」を基本理念に、この新たな市を運営していく上での、基本指針となる「第1次胎内市総合計画」を策定いたしました。

この総合計画は、合併協議の際に作成しました「新市建設計画」をその母体とし、新市の進むべき方向について、より具体的、詳細に定めたものです。

現在、地方自治体を取り巻く社会経済情勢は、急速に進行する少子・高齢化や、高度情報化社会の進展、地球環境問題に加え、地方分権の進展や三位一体の改革などにより大きく変化しており、その影響は本市行財政の抜本的見直しを迫るものであり、今後もこの影響は続くものと予想されます。

このような厳しい状況の中、市民の皆様が安心して働き、学び、そして暮らしていける魅力あるまちづくりを実現するためには、今まで以上に、戦略的な思考をもって市政全般の運営にあたらなければなりません。

本計画を推進していくにあたり、市民の参画と協働によるまちづくりを基本とし、地域の均衡ある発展と市民の一体感の早期醸成を図り「自然が活きる、人が輝く、交流のまち」の実現に邁進する決意でございます。

新生「胎内市」はまだ誕生したばかりではありますが、私たちの住んでいるこの地域には、豊かな自然と産業の基盤、合併前の両町村が培ってきた歴史と伝統があります。

今まで以上に魅力や活力にあふれ、そして他の地域に誇れるようなまちづくりが実現することを望んでやみません。

おわりに、この計画を策定するにあたりまして貴重なご意見、ご提案をいただきました多数の方々及び多方面にわたり熱心なご審議をいただきました審議会の委員の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

胎内市長 吉田和夫